

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	快適で安全な港湾環境の整備（防災・安全）（重点）														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	和歌山県														
計画の目標	・ 県内各港の第一線防波堤を粘り強い構造化とすることにより、地震や津波発生時及び発生後において一定の機能を保ち、背後地域の被害軽減や災害後の施設利用の早期再開に寄与する。 さらに由良港（避難港）においては、異常気象時に備えた船舶の避難場所を確保する。 ・ 和歌山下津港において外郭施設の機能を増加させることにより、再度災害の防止を図る。 ・ 県内港湾の港湾施設を改良することにより、港湾利用者の利便性・安全性の向上を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		13,786	A	13,786	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	・ 県内港湾の防波堤を粘り強い構造化することにより、災害時における緊急物資輸送等に資する港湾機能（港内静穏度）が確保された港湾を増加させる。 災害時における緊急物資輸送等に資する港湾機能（港内静穏度）が確保された港湾の割合 （防波堤の粘り強い構造化完了港湾の割合）＝（防波堤の粘り強い構造化完了港湾数/対象港湾数）×100（％）			
		0%	33%	67%
2	・ 由良港（避難港）においては荒天時の対象船舶（100～500GTトン級）の避泊可能隻数を増加させる。（避泊可能隻数 R2現況：14隻→R10：18隻） 荒天時における対象船舶（100～500GTトン級）の避泊可能隻数 （対象船舶（100～500GTトン級）の避泊可能隻数）（隻）			
		14隻	16隻	16隻
3	・ 和歌山下津港において、外郭施設の防波機能を増加させる。（R2現況：0施設→R6：1施設） 改良を実施した港湾施設数を算出する。 （対策実施済み施設の割合）＝（対策実施済み施設数 / 要対策施設数）×100（％）			
		0%	100%	100%
4	・ 県内港湾において改良の必要な港湾施設4施設のうち2施設の改良を実施する。 改良を実施した港湾施設数を算出する。 （対策実施済み施設の割合）＝（対策実施済み施設数 / 要対策施設数）×100（％）			
		0%	25%	50%
5	・ 和歌山下津港臨港道路において、大規模地震、津波発生後に緊急輸送路や避難路の通行を確保する為、橋梁耐震化対策を実施する。（橋梁耐震化対策R2現況：1橋→R6：3橋） 耐震化対策を実施した橋梁数を算出する。 （対策実施済みの橋梁施設数）（橋）			
		1橋	2橋	3橋
6	・ 和歌山下津港臨港鉄道において、フェリー等の国内定期航路における物資・旅客輸送強化を図る為、橋梁耐震化対策を実施する。（橋梁耐震化対策R2現況：0橋→R6：1橋） 耐震化対策を実施した橋梁数を算出する。 （対策実施済み橋梁施設数）（橋）			
		0橋	0橋	1橋

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A02-001～A02-028全て												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	改良	岸壁（-4.5m）改良【西浜第一岸壁】	水深D=-4.5m、延長L=150m	和歌山下津港・西浜地区	■	■				480		策定済
		（R1までA02-005）（H29以前：防災安全（通常））整備効果：必要な改良を行い施設の長寿命化を図るとともに利用制限を解消する																	
	A02-002	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	改良	物揚場改良【西浜第一物揚場】	水深D=-6.0m、延長L=217m	和歌山下津港・西浜地区	■	■				390		策定済
		（R1までA02-006）（H29以前：防災安全（通常））整備効果：必要な改良を行い施設の長寿命化を図るとともに利用制限を解消する																	
	A02-003	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	改良	緑地護岸改良【雑賀崎緑地護岸】	延長L=816m	和歌山下津港・雑賀崎地区	■					414		策定済
	A02-004	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	改良	物揚場（-3.0m）改良【青岸第一物揚場】	延長L=236m	和歌山下津港・青岸地区	■	■				290		策定済
		（R1までA02-007）（H29以前：防災安全（通常））整備効果：必要な改良を行い施設の長寿命化を図るとともに利用制限を解消する																	
	A02-005	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	改良	係留施設改良【築港第二栈橋】	水深D=-4.5m、延長L=102m	和歌山下津港・内港地区	■	■				400		策定済
		（R1までA02-008）（H29以前：防災安全（通常））整備効果：必要な改良を行い施設の長寿命化を図るとともに利用制限を解消する																	
A02-006	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	改良	係留施設改良【近畿地方整備局一号栈橋】	水深D=-1.3m、延長L=17m	和歌山下津港・内港地区	■	■	■			100		策定済	
	（R1までA02-009）（H29以前：防災安全（通常））整備効果：必要な改良を行い施設の長寿命化を図るとともに利用制限を解消する																		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R02	R03	R04	R05	R06													
		一体的に実施することにより期待される効果																	
備考																			
港湾事業	A02-007	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	建設	防波堤北（粘り強い構造化）	延長L=450m	湯浅広港・湯浅地区	■	■				300		策定済
		（R1までA02-003）（H28以前：防災安全（通常））																	
	A02-008	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	建設	防波堤南（粘り強い構造化）	延長L=400m	湯浅広港・広地区	■	■				300		策定済
		（R1までA02-004）（H28以前：防災安全（通常））																	
	A02-009	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	建設	防波堤北（避難港）	延長L=350m	由良港・神谷地区	■	■	■	■	■	4,005	21.7	-
		（R1までA02-001）（H28以前：防災・安全（通常））整備効果：異常気象時に備えた船舶の避難場所を確保する																	
	A02-010	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	建設	防波堤南（避難港）	延長L=100m	由良港・志賀地区	■	■				60	21.7	-
		（R1までA02-002）（H28以前：防災安全（通常））整備効果：異常気象時に備えた船舶の避難場所を確保する																	
	A02-011	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	改良	西防波堤（粘り強い構造化）	延長L=200m	文里港・文里地区	■	■	■	■	■	420		策定済
	A02-012	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	改良	外東防波堤（粘り強い構造化）	延長L=98m	文里港・文里地区	■	■	■	■	■	250		策定済

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-013	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	改良	文里防波堤（粘り強い構造化）	延長L=145m	文里港・新庄地区	■	■	■	■	■	450		策定済
	A02-014	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	改良	文里第二防波堤（粘り強い構造化）	延長L=26m	文里港・文里地区	■	■	■	■	■	150		策定済
	A02-015	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	改良	橋梁等改良【青岸橋】	橋梁1橋	和歌山下津港・青岸地区	■	■				150		策定済
		（R1までA02-010）整備効果：必要な改良を行い施設の利便性・安全性の向上を図る																	
	A02-016	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	改良	導流堤改良【導流堤】	延長L=217m	和歌山下津港・有田地区	■	■	■	■		300		策定済
		整備効果：必要な改良を行い施設周辺水域の埋塞対策を行う																	
	A02-017	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	改良	道路（改良）【一号臨港道路】	延長L=3,000m	和歌山下津港・西浜地区	■	■	■	■		70		策定済
		（R1までA02-057）（H26以前1-A-82）整備効果：必要な改良を行い施設の利便性・安全性の向上を図る																	
	A02-018	港湾	一般	和歌山県	直接	－	重要	改良	導流堤改良【導流堤（左岸）】	延長L=460m	日高港・塩屋地区	■	■				105		策定済
		（R1までA02-072）整備効果：必要な改良を行い施設周辺水域の埋塞対策を行う																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R02 R03 R04 R05 R06																	
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
港湾事業	A02-019	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	改良	係船護岸（-2.0m）改良【 湯浅第二係船岸】	水深D=-2.0m、延長L=137m	湯浅広港・湯浅 地区	■	■	■	■	■	62		策定済
		（R1までA02-078）整備効果：必要な改良を行い施設の利便性・安全性の向上を図る																	
	A02-020	港湾	一般	和歌山県	直接	－	重要	改良	導流堤改良【導流堤（左 岸）】	延長L=314m	日高港・塩屋地 区		■	■	■	■	300		策定済
		（R1までA02-072）整備効果：必要な改良を行い施設周辺水域の埋塞対策を行う																	
	A02-021	港湾	一般	和歌山県	直接	－	重要	改良	導流堤改良【導流堤（左 岸）】	延長L=150m	日高港・塩屋地 区		■	■	■	■	450		策定済
		（R1までA02-072）整備効果：必要な改良を行い施設周辺水域の埋塞対策を行う																	
	A02-022	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	建設	橋梁耐震化対策【ムーン ブリッジ】	橋梁 1橋	和歌山下津港・ 毛見地区		■	■	■	■	750		策定済
		（R1までA02-005）（H26以前1-A-109）整備効果：避難路の通行を確保し、災害後の施設利用の早期再開に寄与する																	
	A02-023	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	改良	橋梁等改良【サンブリッ ジ】	橋梁 1橋	和歌山下津港・ 毛見地区		■	■			360		策定済
		（R1までA02-012）整備効果：避難路の通行を確保し、災害後の施設利用の再開に寄与する																	
A02-024	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	改良	防波堤北（改良）	延長L=450m	湯浅広港・湯浅 地区			■			300		策定済	
	整備効果：必要な改良を行い施設の安全性の向上を図る																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-025	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	改良	防波堤南（改良）	延長L=400m	湯浅広港・広地区			■			270		策定済
		整備効果：必要な改良を行い施設の安全性の向上を図る																	
	A02-026	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	建設	橋梁耐震化対策【サンプ リッジ】	橋梁 1橋	和歌山下津港・ 毛見地区				■	■	600		策定済
		整備効果：避難路の通行を確保し、災害後の施設利用の早期再開に寄与する																	
	A02-027	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	改良	防波堤北（改良）	延長L=450m	湯浅広港・湯浅 地区				■	■	1,000		策定済
		整備効果：必要な改良を行い施設の安全性の向上を図る																	
	A02-028	港湾	一般	和歌山県	直接	－	地方	改良	防波堤南（改良）	延長L=400m	湯浅広港・広地区				■	■	1,000		策定済
		整備効果：必要な改良を行い施設の安全性の向上を図る																	
	A02-029	港湾	一般	和歌山県	直接	－	拠点	建設	橋梁耐震化対策【築地橋 梁】	橋梁 1橋	和歌山下津港・ 内港地区					■	60		策定済
整備効果：整備効果：地震や津波発生時及び発生後において一定の機能を保ち、背後地域の被害軽減や災害後の施設利用の早期再開に寄与する																			
										小計							13,786		
										合計							13,786		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 和歌山県県土整備部にて評価	事後評価の実施時期 令和8年9月（予定）
	公表の方法 和歌山県ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	防波堤の粘り強い構造化について、湯浅広港で対策を完了した。 由良港（避難港）において、防波堤南の整備が完了したことにより、避泊可能隻数が14隻から16隻に増加した。 和歌山下津港の雑賀崎緑地護岸を改良したことで、防波機能が増加した。 橋梁耐震化対策について、目標の3橋の内、2橋（青岸橋、ムーンブリッジ）の対策が完了しており、大規模地震、津波発生後の緊急輸送道路や避難路としての通行が確保できる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	湯浅広港の防波堤粘り強い構造化、由良港の防波堤南の整備が完了したことにより、津波発生時において背後地の浸水面積の低減に寄与する。
○特記事項（今後の方針等）	
未完成の箇所については、早期完成に向け引き続き事業進捗を図る。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	防波堤の粘り強い構造化完了港湾の割合		
	最 終 目標値	67%	地元及び他事業との調整に日数を要したため、目標値を達成できなかった。
	最 終 実績値	33%	
2	対象船舶（100～500GTトン級）の避泊可能隻数		
	最 終 目標値	16隻	
	最 終 実績値	16隻	
3	対策実施済み施設の割合		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
4	対策実施済み施設の割合		
	最 終 目標値	50%	
	最 終 実績値	53%	
5	対策実施済みの橋梁施設数		
	最 終 目標値	3橋	材料費の高騰により、当初想定よりも全体事業費が増加したため。また工事ヤードの調整に日数を要したことで、目標値を達成できなかった。
	最 終 実績値	2橋	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	対策実施済みの橋梁施設数		
	最 終 目標値	1橋	関係機関との調整に日数を要したため、目標値を達成できなかった。
	最 終 実績値	0橋	